

KOKOPO TOKSAVE

第3号

青年海外協力隊2016年度2次隊
宮崎 貴行（郡山市出身）

『パプアニューギニア』という名前を聞いてピンとくる方はほとんどいないのではないのでしょうか？私も赴任が決まるまではどんな国なのか全く知りませんでした。しかし、パプアニューギニアと日本はとても大きなつながりがあります。

パプアニューギニアと日本

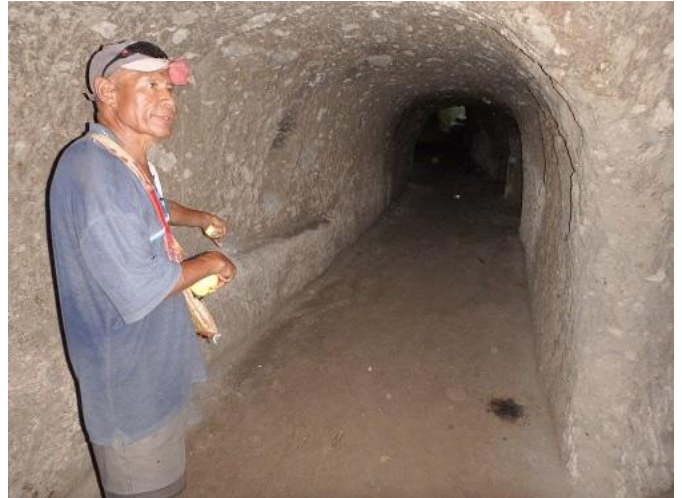
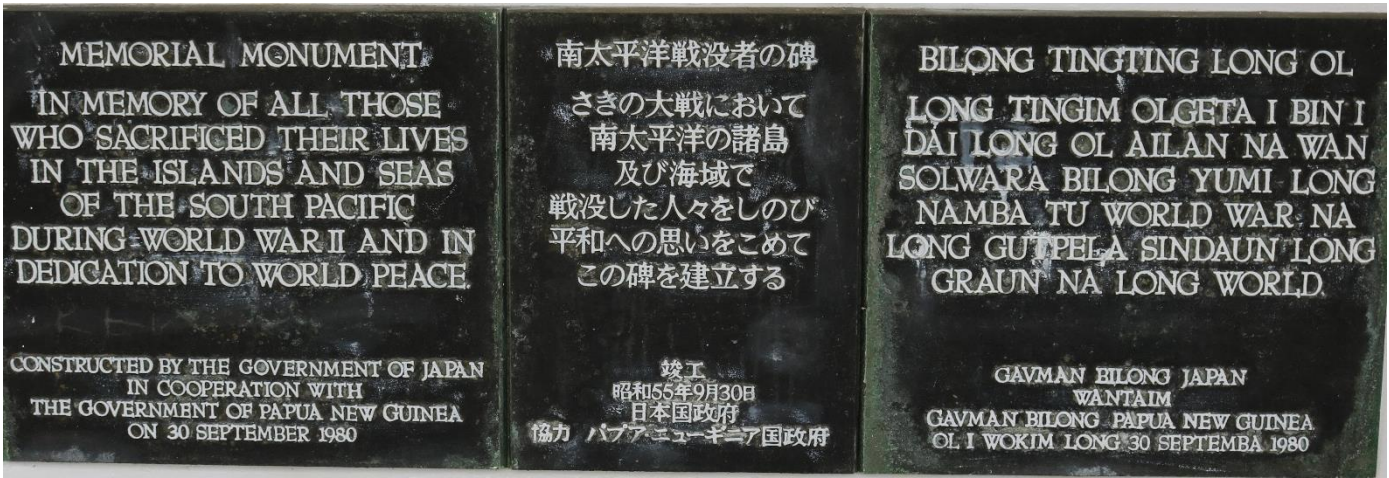
私が活動しているココポ及びかつての州都ラバウルは太平洋戦争時日本の軍隊が占領していた場所なのです。「ゲゲゲの鬼太郎」の作者で有名な水木しげるさんは当時この地で腕を失ったそうです。今現在においても慰霊碑や歴史館があるため、当時の名残を垣間見ることができます。



ココポ市内にある歴史館では日本軍が使用していた戦車や大砲を見る事ができます。



日本とパプアニューギニアによって
 建立された慰霊碑。
 柱には下の写真のように英語(左)・
 日本語(中央)・現地語<ピジン語>
 (右)で亡くなった方々への哀悼の言
 葉がつづられています。



ラバウルにはかつて日本軍が作ったとされる洞窟がいくつもあります。この洞窟を基地や野戦病院として使っていたそうです。入り口は小さいですが、中に入ると屈まずに歩けるほど広く、非常に入り組んでいます。